



2014年6月期 決算説明会資料

2014年8月19日

株式会社エンビプロ・ホールディングス



1. 会社概要
2. 2014年6月期 決算概要
3. 2015年6月期 見通し
4. 成長戦略

1. 会社概要

2014年期中に(株)エコミットと(株)E3を設立

2014年6月30日現在

本 社	静岡県富士宮市山宮3507番地の19
代 表 者	代表取締役社長 佐野富和
設 立	2010年5月
グループ会社	連結子会社11社(孫会社含む)、持分法適用関連会社2社
従 業 員 数	単体21名 (連結268名)

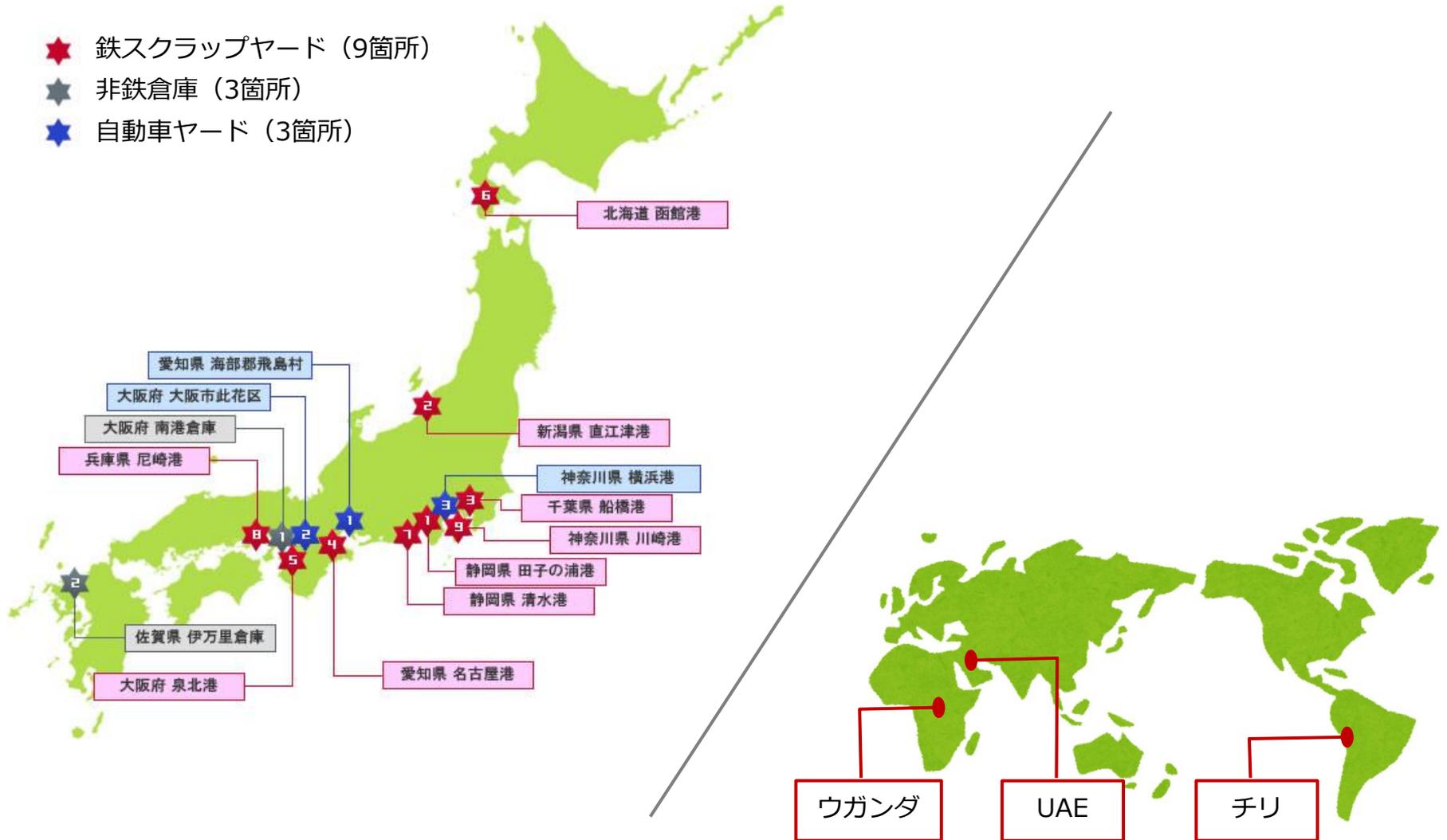


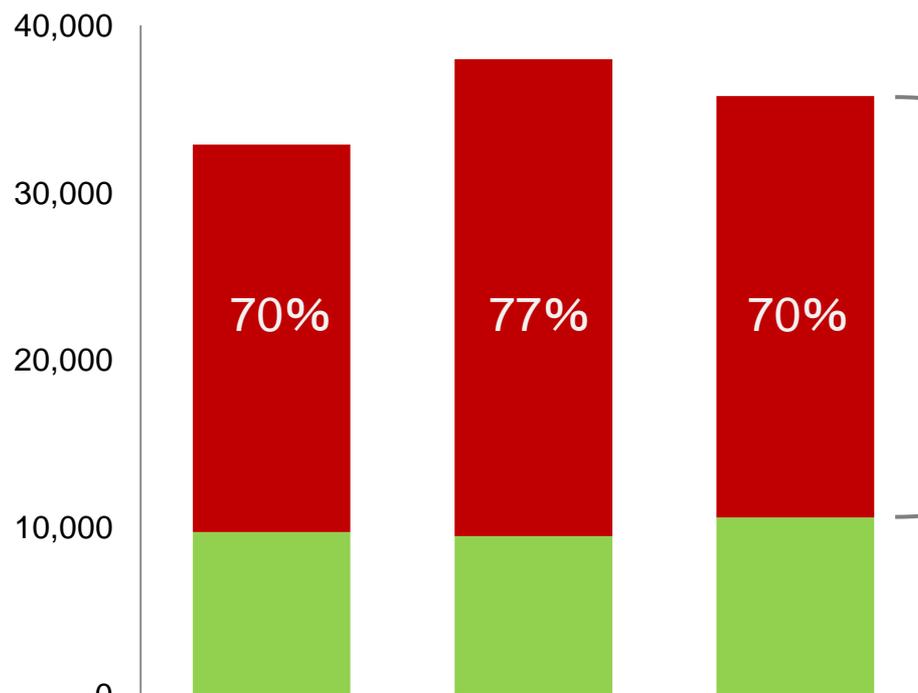
会社種別	会社名	所在地	事業内容
子会社	(株)エコネコル	静岡県 富士宮市	総合資源リサイクル及びリサイクル資源の輸出販売事業等。複合材の複合選別リサイクルに強み。富士宮、清水、浜松に生産拠点を展開。全国ヤード展開による物流の拡大で仕入れ、販売が拡大。
	(株)3WM	愛知県 名古屋市	中古車・中古車部品等の輸出及び三国間貿易、物流代行業業。UAE、チリ、ウガンダに現地法人を展開。
	(株)クロダリサイクル	北海道 函館市	金属プラスチック等のリサイクル及び家電リサイクル事業。北海道に密着した事業を営み、創業90年。2008年6月に買収。(事業継承型M&A)
	(株)しんえこ	長野県 松本市	金属プラスチック等のリサイクル及び自動車リサイクル事業。長野県唯一の大型シュレッダー(破碎機)を保有。2011年4月に買収。(事業再生型M&A)
	(株)エコミット	長野県 松本市	障害福祉サービス事業。資源リサイクル事業との組合せによる障害者支援、雇用創出を目指す。
	(株)E3	東京都 港区	再生エネルギー発電事業。環境負荷低減を目指す。
持分	(株)アビツ	愛知県 名古屋市	金属プラスチック等のリサイクル及び自動車リサイクル事業。中古車オークション最大手(株)ユー・エス・エス(東証一部)との合併。
	(株)富士エコサイクル	静岡県 浜松市	家電リサイクル事業。(株)富士通ゼネラル(東証一部)及び家電メーカー4社との合併。

事業拠点



- ★ 鉄スクラップヤード (9箇所)
- ★ 非鉄倉庫 (3箇所)
- ★ 自動車ヤード (3箇所)





品目	主な販売地域
鉄スクラップ	韓国、中国、台湾
非鉄金属	中国、韓国
故紙	中国、韓国、タイ
プラスチック	中国、台湾
中古自動車	中東、東南アジア、 アフリカ、南米

	2012年	2013年	2014年
■ 海外売上高	23,154	28,491	25,188
■ 国内売上高	9,727	9,479	10,598

2. 2014年6月期 決算概要

減収減益

- 連結子会社が不調（営業利益に影響）、持分法会社が好調（経常利益に影響）
- 上期に資源相場が国内高で推移し仕入力が低下
→販売量の減少（減収要因）、利幅の縮小（減益要因）

連結子会社4社設立

- 株式会社エコミット：障害福祉サービス事業
- 株式会社E3：再生可能エネルギー事業
（子会社に合同会社E3太陽光発電、合同会社フォリシア発電）

組織改編

- 国内営業企画部・海外営業企画部を設立し、グループ総合力の発揮を模索
- 内部統制委員会の小委員会として危機管理委員会を新設（2013年12月）

トピック

- 特許2件を取得（株式会社エコネコル、株式会社アビツ）
- 株式会社エコネコル：経済産業省の補助金事業に3年連続で採択
- 株式会社しんえこ：特定求職者労働工場施設を開設

損益計算書の概要（連結）



	2013年 期		2014年 期				主な増減要因
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	前年比		
					増減額 (百万円)	増減率	
売上高	37,969	100.0%	35,786	100.0%	△2,183	△5.7%	【売上高】 上期は鉄スクラップ相場が国内 高海外安で推移したことにより、 販売量・利益ともにマイナス要 因
売上総利益	6,068	16.0%	5,793	16.2%	△275	△4.5%	
営業利益	827	2.2%	504	1.4%	△322	△39.0%	【限界利益】 固形燃料の製造強化、大型解体 物件の受注、集荷営業強化によ る
経常利益	892	2.4%	726	2.0%	△166	△18.7%	
税金等調整前 当期純利益	1,157	3.0%	790	2.2%	△367	△31.7%	【経常利益】 持分法による投資利益の増加が 貢献
当期純利益	863	2.3%	551	1.5%	△312	△36.2%	
償却前利益	1,661	4.4%	1,324	3.7%	△337	△20.3%	
限界利益 ※売上－変動費	4,691	12.4%	4,797	13.4%	106	2.3%	
純粹固定費	3,936	10.4%	4,323	12.1%	387	9.8%	

貸借対照表の概要（連結）



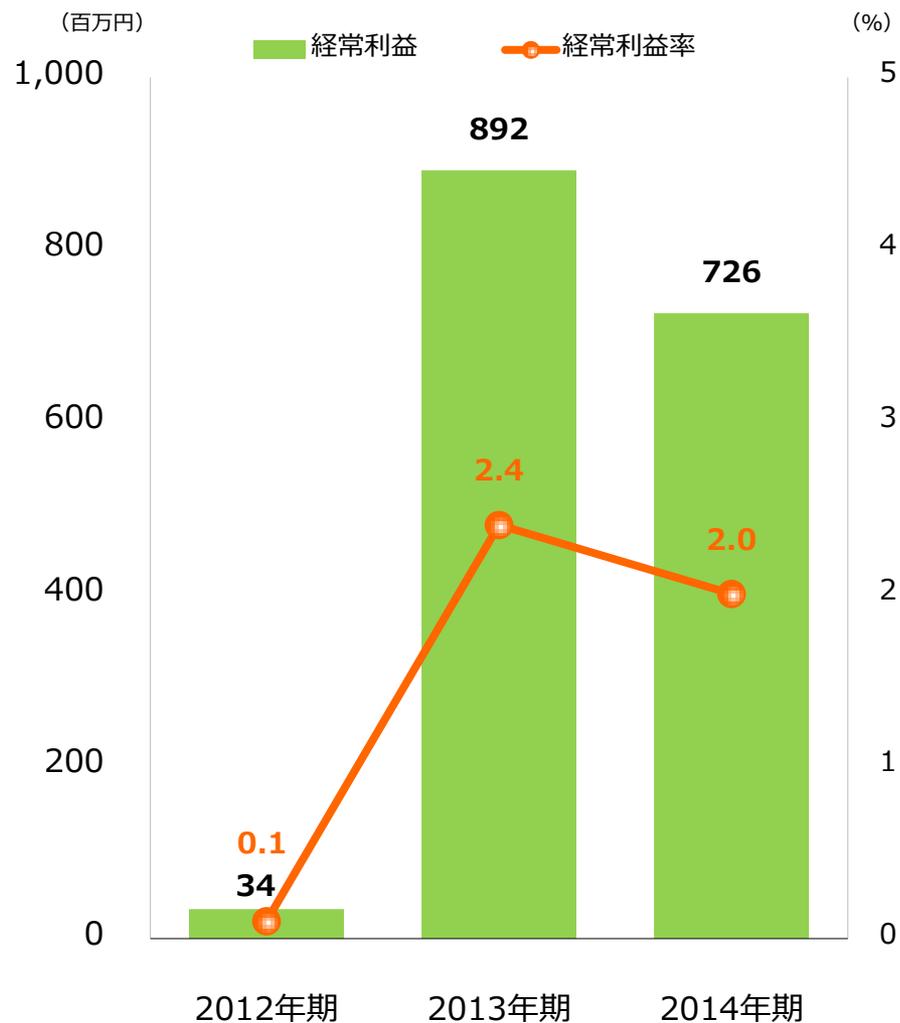
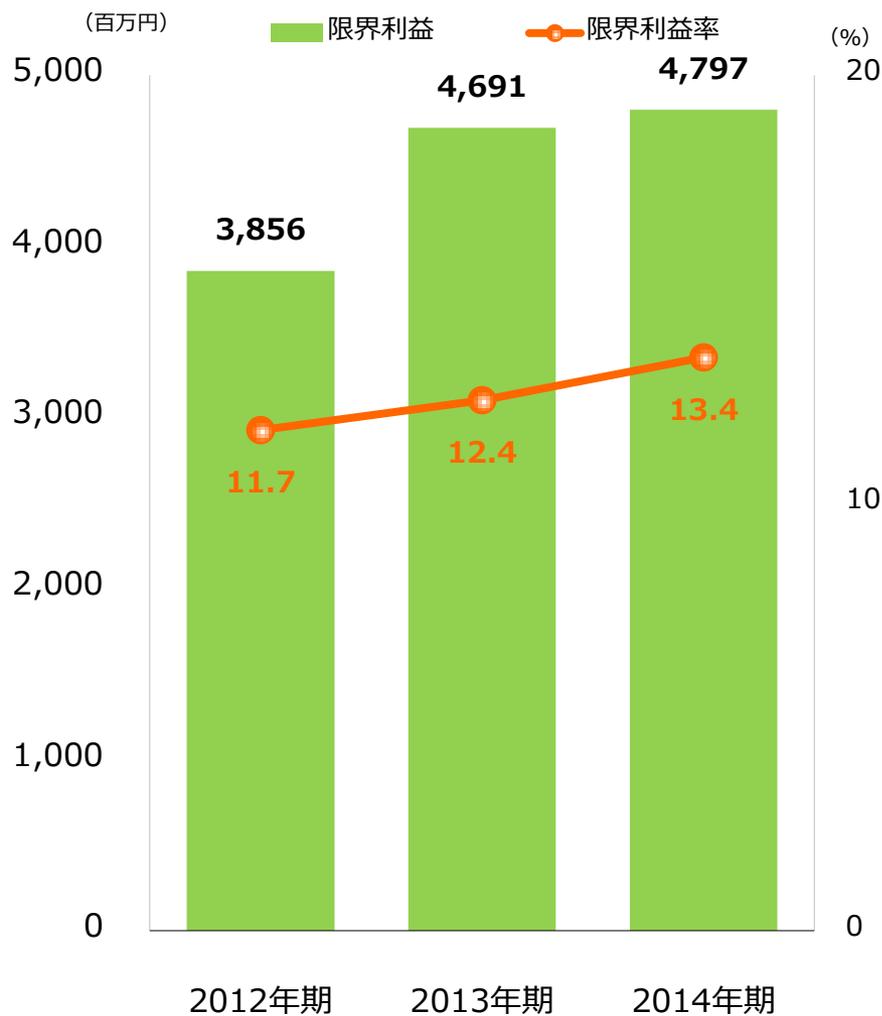
	2013年 期		2014年 期			
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	5,496	45.8%	6,463	49.4%	966	受取手形・売掛金+315 商品・製品+463
固定資産	6,505	54.2%	6,627	50.6%	122	投資有価証券+243
資産合計	12,001	100%	13,090	100%	1,088	
流動負債	4,194	34.9%	4,235	32.4%	41	短期借入金+235
固定負債	2,292	19.1%	1,586	12.1%	△705	長期借入金△782
負債合計	6,486	54.0%	5,822	44.5%	△664	
純資産合計	5,515	46.0%	7,268	55.5%	1,753	資本金+603 資本剰余金+603
負債・純資産合計	12,001	100%	13,090	100%	1,088	

キャッシュ・フローの概要（連結）



	2013年 期 (百万円)	2014年 期 (百万円)	主な要因
営業キャッシュ・フロー	1,414	187	税金等調整前当期純利益+790 減価償却費+753 持分法による投資損益△251 売上債権の増減額△314 たな卸資産の増減額△422 法人税等の支払額△336
投資キャッシュ・フロー	△584	△567	有形固定資産の取得△676
フリーキャッシュ・フロー	830	△380	
財務キャッシュ・フロー	△1,002	423	株式の発行+1,195 長期借入金の返済△828
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	△9	
現金及び現金同等物の増減額	△132	32	
現金及び現金同等物の期末残高	1,213	1,246	

限界利益・經常利益

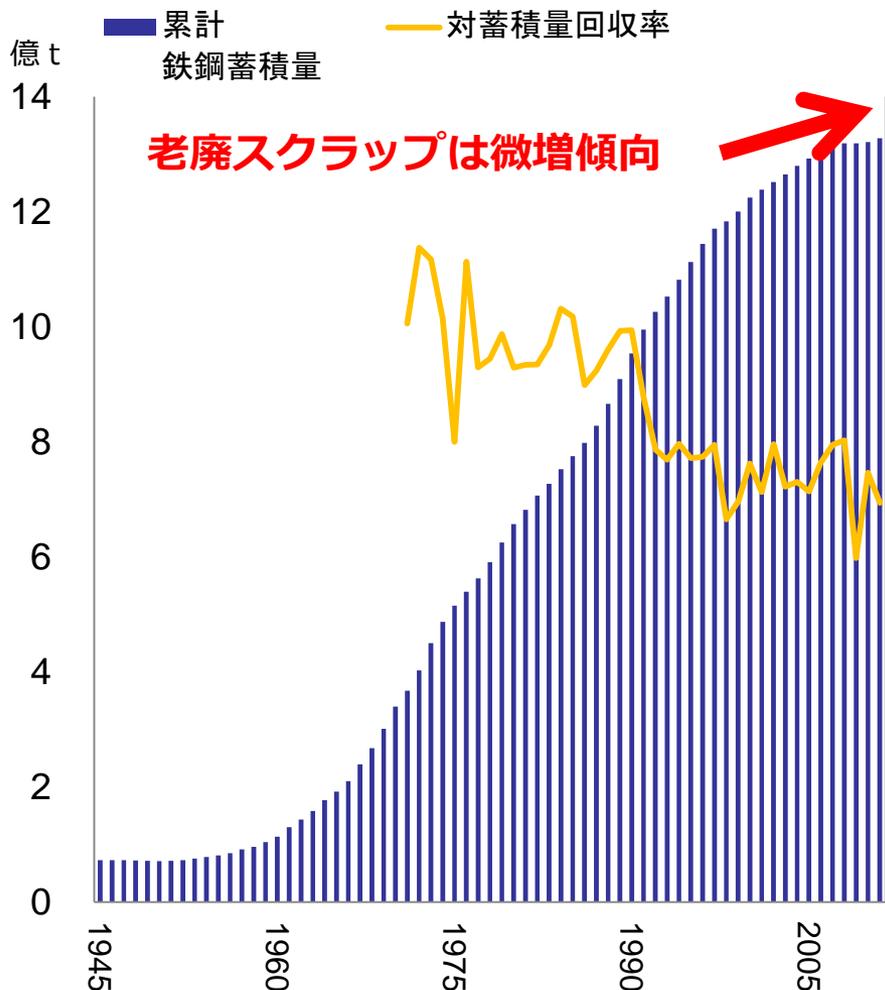


3. 2015年6月期 見通し

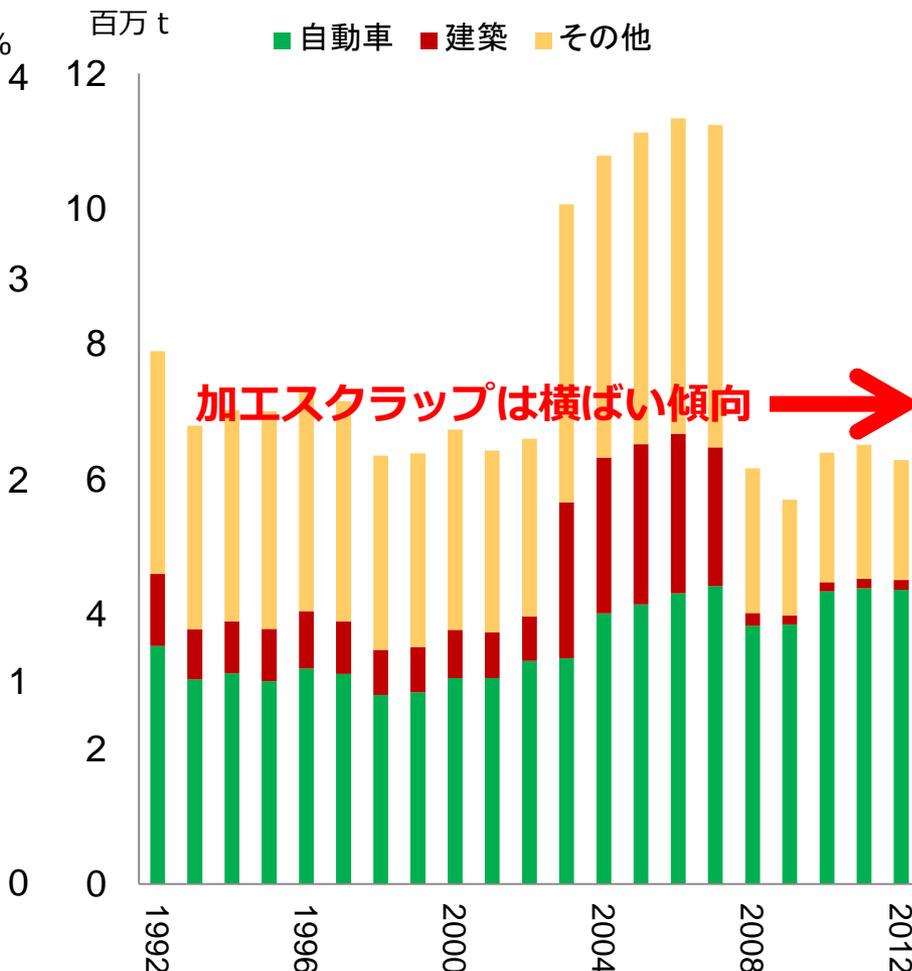
鉄スクラップのマーケット



鉄鋼蓄積から出る老廃スクラップは今後も微増傾向が見込まれる。加工スクラップは、製造業の生産動向の影響を大きく受け、今後の発生量増加は期待できない。



(出所) 一般社団法人日本鉄源協会



(出所) 一般社団法人日本鉄源協会

事業環境

- 日本経済の回復傾向が持続
- 東京オリンピック需要の取り込み
- 消費税法改正による駆け込み需要
(平成27年10月予定 10%)

2015年6月期の取り組み

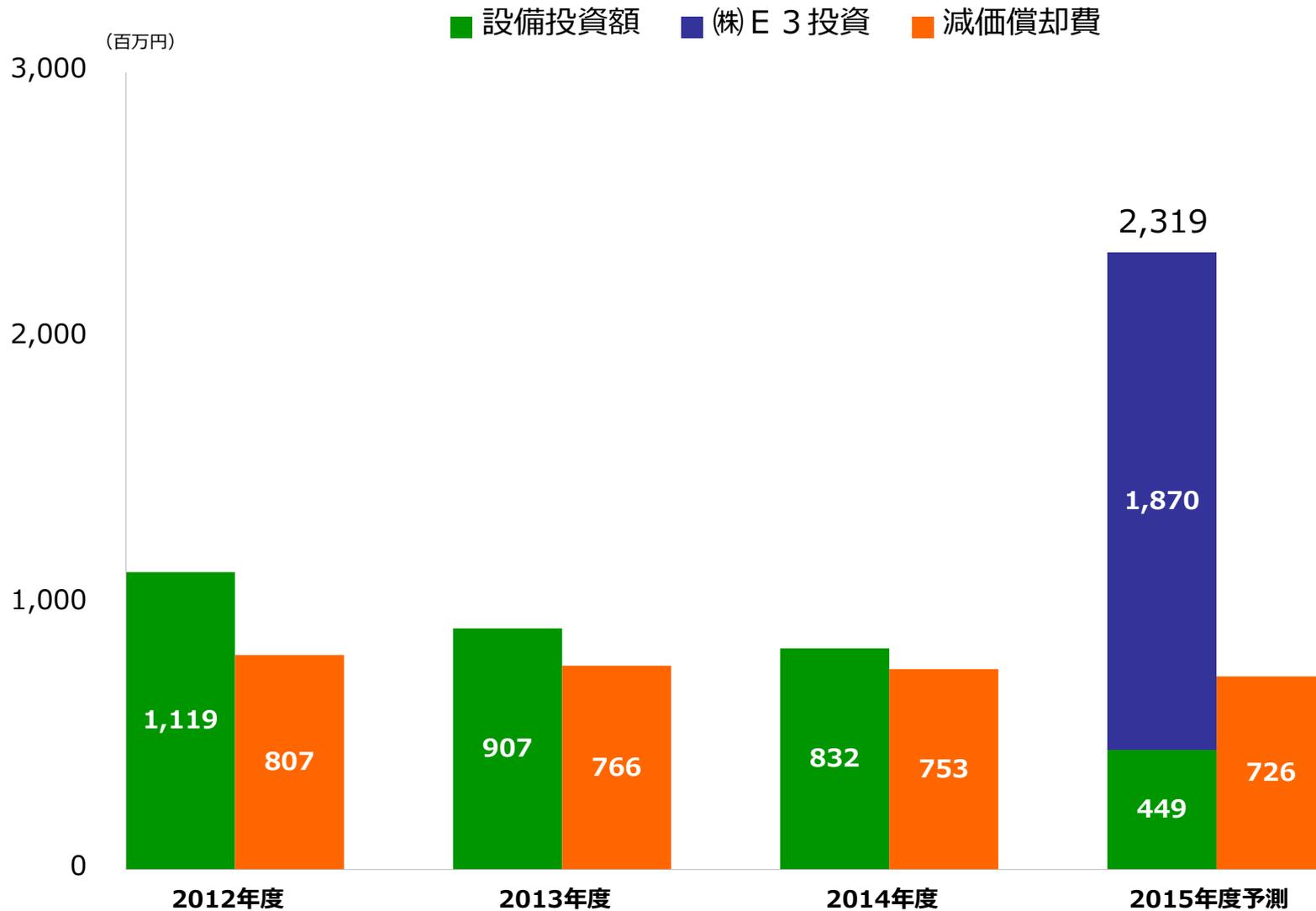
- 燃料化事業の強化
- 三国間貿易の強化
- 東京営業所を活用した仕入営業強化
- ウガンダ自動車整備事業立ち上げ
- 太陽光発電事業の本格的立ち上げ

2015年6月期業績予想（連結）



	2013年6月期	2014年6月期	2015年6月期 予想		
	通期 (百万円)	通期 (百万円)	通期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率
売上高	37,969	35,786	38,729	2,942	8%
売上総利益	6,068	5,793	6,414	621	11%
営業利益	827	504	745	239	47%
経常利益	892	726	897	170	23%
税金等調整前当期純利益	1,157	790	897	107	14%
当期純利益	863	551	558	6	1%
償却前利益	1,661	1,324	1,471	147	11%
限界利益	4,691	4,797	5,280	483	10%
純粹固定費	3,936	4,323	4,547	224	5%
ROE (%)	17.5	8.9	7.6	△1.3	△15%
1株当たり当期純利益 (円)	187	91	86	△5	△6%
1株当たり配当金(円) (株式分割補正後)	10	15	15	0	0%

設備投資・減価償却費



4.成長戦略

自治体への営業拡大

一般廃棄物のマーケット 1.7兆円

(出所：環境省 一般廃棄物の排出及び処理状況等（平成24年度）について)

- ◆ 自治体との取引強化
- ◆ 焼却残渣からの有用金属回収

将来的には
自治体廃棄物処理事業
に貢献

大企業への営業拡大

- ◆ 関東圏での営業強化及び国内営業企画部新設
- ◆ 大型解体案件を新規受注

ワンストップサービスの
展開を目指す

固形燃料及び鉄鋼副資材の製造強化

- ◆ 廃棄物を有価物として製品化
- ◆ 最終処分コストの削減

生産量及び生産拠点の
増大を目指す

有用金属（非鉄・金銀滓等）の回収率向上

- ◆ 電極材リサイクル（特許取得）
- ◆ 化学選別による希少金属回収研究

実用化及び安定生産
を目指す

再生可能エネルギー事業とリサイクル

(株)E3は、再生可能エネルギー事業分野での直接的収益を取り込むと同時に、グループのリサイクル技術と集荷能力を強みとし、将来発生するリサイクル案件の獲得を融合。

20年後、30年後を見据えたマーケットの開拓



熊本県津奈木町	・・・	1.5 MW	(@40円)
熊本県錦町	・・・	2.2 MW	(@40円)
福岡県桂川町	・・・	4.0 MW	(@36円 用地取得済み)

ご清聴ありがとうございました。

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社エンビプロ・ホールディングスの現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社エンビプロ・ホールディングス 財務部

TEL (0544) 58-0521

URL <http://www.envipro.jp>